

ヒマラヤ学誌

第15号

目次

巻頭言	編集委員	
Global Environmental Issues from the Viewpoints of Medical Surveys on Non-Caucasian Highlanders in the World	<i>Kozo Matsubayashi et al.</i>	2
遠征と遭難の日々を振り返る—ヤルンカン遠征 40 周年	松沢哲郎	13
特集 1：京都大学ブータン友好プログラム特集		
第 10 次京大ブータン友好訪問団調査報告	吉原博幸ほか	23
ブータン王国における高齢者ケア計画の概要	坂本龍太	49
ブータン・サムテガンからの報告	藤澤道子	55
ブータンで新生児と寄り添った 878 日	西澤和子	61
ブータン王国での産婦人科勤務 報告	加藤恵美子	68
現代ブータンにおける屠畜と仏教 —殺生戒・肉食・放生からみる「屠畜人」の現在について—	宮本万里	72
ブータンにおけるサキヤ派仏教	熊谷誠慈	82
一国アウトリーチ：霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院の発足	松沢哲郎	93
特集 2：総合地球環境学研究所「高所プロジェクト」特集		
高所プロジェクト「人の生老病死と高所環境 —『高地文明』における医学生理・生態・文化的適応』を終えて—	奥宮清人	100
インド、ラダーク地方ドムカルにおける家畜飼養の特徴、社会背景、およびその変容	稲村哲也ほか	139
農耕からみた「高地文明」としての東ヒマラヤの特徴	安藤和雄	155
特集 3：ニューギニア特集		
西ニューギニア地域における神経変性疾患の実態に関する縦断的研究	奥宮清人ほか	169
西ニューギニアの神経難病多発地域を歩く—第 3 報—医療と文化・貨幣経済・地母神—	平田 温ほか	175
特集 4：雲南懇話会からの寄稿		
ベトナム北部の茶文化—首都ハノイを中心として—	長坂康代	184
北極圏の温暖化—科学の取り組み・フィールドワーク・人—	榎本浩之	193
謝辞・訂正		

2014

京都大学ヒマラヤ研究会
 京都大学ブータン友好プログラム
 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・
 リーディング大学院

投稿規定

1. 本誌への投稿は、京都大学ヒマラヤ研究会会員とともに、非会員からも受け入れる。掲載論文は他誌に未発表のものとする。
2. 本誌には次のものを掲載する。
 - 1) 原著、2) 総説、レビュー、3) エッセー、4) Editorial など
3. 原稿は別に定める様式に従って、可能な限り、電子ファイルで作成する。
4. 論文の長さは、原則として、図表を含めて原稿枚数、24 枚（400 字 / 枚）以内とする。また、カラー印刷希望の場合など、図表、写真などで製版、印刷に特別の費用を要するとき、実費を投稿者の負担とする。なお、図表は 1 頁でおさまるものとする。
5. 論文には、研究の目的、方法および結果を理解できるような 300 語以内の英文抄録をつけて提出する。また表題、氏名および所属名の英文も併記する。
6. 原稿は、発行者編集係宛へ提出する。
7. 投稿原稿の採否は編集委員会で行い、査読結果により修正を求めることがある。
8. 原稿は原則として返却しない。原図・写真等の返却を希望する場合は、その旨明記すること。
9. 論文の別冊は印刷に要する実費の全額を著者が負担する。
10. 採択された論文等の著作権（著作権法 27 条 翻訳権、翻訳権法 28 条 二次的著作物の利用に関する原著者の権利）は、発行者（京都大学ヒマラヤ研究会、京都大学ブータン友好プログラム、京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院）に帰属する。
11. 発行者は、当該論文等の全部または一部を、発行者ホームページ、発行者が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版（電子出版を含む）出来るものとする。この場合、必要により当該論文の抄録等を作成して付すことがある。

原稿の様式

1. 原稿は新かなづかい、口語体、平がなの横書きとする。漢字は原則として常用漢字とする。
 2. 外国の人名、地名、物件名などは原語を用いる。ただし、人名、固有名詞およびドイツ語の名詞は最初の 1 字を大文字、他は小文字で書く。
 3. 動物のラテン語学名はイタリック、日本語名はカタカナで書く。
 4. 数量の記号は、C.G.S. 単位により欧文で表すこと。
 5. 図表は鮮明で印刷しやすい形にして、説明文をつけ、おおよその挿入個所を本文左余白に指示する。
 6. 章、節、項などをあらわす符号として、次のようなものを用いる。
 - I. II. III.
 1. 2. 3.
 - 1) 2) 3)
 - (1) (2) (3)
 - a. b. c.
 - a) b) c)
 - (a) (b) (c)
7. 引用文献の記載は次の様式にする。
 - 1) 雑誌の場合は、著者名（3 名以上の場合「ほか」または「et al」とする）、表題名、雑誌名、巻：掲載ページ、発行年の順とする。ただし、雑誌名は決められた略称を用いる。
 - 2) 単行本の場合は、著者名（監修または編集者名）：項目名（書名）、発行所、所在地、発行年：引用頁、の順に記す。

<引用文献記載例>

雑誌
 - 1) 堀了平：ブータンの生薬資源．ヒマラヤ学誌 3: 113-122, 1992.
 - 2) Rowe JW, Kahn RL. Human aging: Usual and Successful. Science 237:143-149, 1987.単行本
 - 1) 川喜田二郎（今西錦司編）：農業北限線の問題（大興安嶺探検）．講談社，東京，1975:514-534.
 - 2) West JB: High life. A history of high-altitude physiology and medicine. Oxford University Press, New York, USA, 1998: 132-163.

謝 辞

「本誌公刊にあたっては、京都大学学士山岳会、京都大学全学経費（「京都大学ブータン友好プログラム」）、京都大学教育研究振興財団、京都大学「霊長類学・ワイルドライフサイエンス」・リーディング大学院、ならびに一般社団法人日本山岳協会からの助成をうけました。

訂正のお詫び

ヒマラヤ学誌 14 号掲載の岡邦俊著「旅行者と研究者とのほざまで—雲南懇話会中国法制研究会の活動報告—」において、下記の誤りがありましたので、お詫び申し上げます（編集委員）。

「国益物件」（誤）→「用益物件」（正） <257 ページ、左段、24 行>

「国法制研究会」（誤）→「中国法制研究会」（正）<258 ページ、左段、14 行>

編集委員

稲村哲也（愛知県立大学）

河合明宣（放送大学群馬学習センター）

月原敏博（福井大学教育地域学部）

松沢哲郎（京都大学霊長類研究所）

奥宮清人（京都大学東南アジア研究所）*

竹田晋也（京都大学 A・A 地域研究研究科）

古川 彰（関西学院大学社会学部）

松林公蔵（京都大学東南アジア研究所）*

*：編集責任者

2014 年 3 月 28 日発行

ヒマラヤ学誌 第 15 号

発行者 京都大学ヒマラヤ研究会
京都大学ブータン友好プログラム
京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエ
ンス・リーディング大学院
〒484-8506 愛知県犬山市官林 京都大学霊長類研究所
松沢哲郎（気付け）
Tel. 0568-63-0567（大代表）、Fax. 0568-63-0085
e-mail: matsuzaw@pri.kyoto-u.ac.jp

編集委員会 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46
京都大学東南アジア研究所、松林公蔵気付け
Tel. 075-753-7368, Fax. 075-753-7168
e-mail: kmatsu@cseas.kyoto-u.ac.jp

印刷所 株式会社 土 倉 事 務 所
〒603-8148 京都市北区小山西花池町 1-8
Tel. 075-451-4844, Fax. 075-441-0436
e-mail: jde07711@nifty.com

Himalayan Study Monographs

No.15 2014

Preface	<i>Editors</i>	
Global Environmental Issues from the Viewpoints of Medical Surveys on Non-Caucasian Highlanders in the World	<i>Kozo Matsubayashi et al.</i>	2
A Retrospective of the Early Days of Kyoto University Mountaineering Club: 40th Anniversary of the 1973 First Ascent of Kangchenjunga West	<i>Tetsuro Matsuzawa</i>	13
Special Issue 1: Contribution from the Kyoto Bhutan Friendship Program		
A Report on the Tenth Delegation of Kyoto University Bhutan Friendship Program	<i>Hiroyuki Yoshihara et al.</i>	23
A General Outline of the Plan on the Elderly Care Program in the Kingdom of Bhutan	<i>Ryota Sakamoto</i>	49
The Report from Samtengang, Bhutan.....	<i>Michiko Fujisawa</i>	55
878days of Nestling Close to Neonates in Bhutan	<i>Yoriko Nishizawa</i>	61
Obstetric Case Reports I Operated in JIGME DORJI WANGCHUK NATIONAL REFERRAL HOSPITAL Bhutan	<i>Emiko Kato</i>	68
Slaughter and Buddhism in Contemporary Bhutan: the Buddhist Precepts and the Status of "Slaughterer"	<i>Mari Miyamoto</i>	72
Introduction of the Buddhist <i>Sa skya pa</i> School in Bhutan	<i>Seiji Kumagai</i>	82
Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science: Outreach to a Particular Country	<i>Tetsuro Matsuzawa</i>	93
Special Issue 2: The High Altitude Project in Research Institute for Humanity and Nature		
Summary of High-Altitude Project (2005-2012)	<i>Kiyohito Okumiya</i>	100
Characteristics of the Traditional Animal Husbandry, its Social Background and Transformation in Domkhar Valley, Ladakh, India	<i>Tetsuya Inamura et al.</i>	139
Characteristics of Eastern Himalaya as a High Altitude Civilization from a Viewpoint of Agricultural Systems	<i>Kazuo Ando</i>	155
Special Issue 3: New Guinea		
Longitudinal Study for Neuro-degenerative Diseases in Papua, Indonesia	<i>Kiyohito Okumiya et al.</i>	169
Third Report of A Longitudinal Survey of Neurodegenerative Diseases, Walking in Swampy Jungle of West New Guinea — Medical Sciences, Culture, Monetary Economy and Gaea, the Goddess of the Earth —	<i>Yutaka Hirata et al.</i>	175
Special Issue 4: Contribution from the Yunnan Forum		
Tea Culture in the Northern Vietnam — Penetration and Flourishing of Tea Culture in the Daily Lives of Hanoi, the Capital of Vietnam —	<i>Yasuyo Nagasaka</i>	184
Arctic Warming — Scientific approach, field work and people in the Arctic —	<i>Hiroyuki Enomoto</i>	193
Acknowledgements and Department of errors		

The Association for the Studies of Himalaya, Kyoto University
Kyoto University Bhutan Friendship Program

The Leading Graduate Program for Primatology and Wildlife Science, Kyoto University